

## 【中学生の部】

小さなことの積み重ね

いわき市立内郷第一中学校2年 すず 鈴 き 木 えいた 瑛 太

「七〇代女性 二百八十万円被害」

なりすまし詐欺に関するニュースは毎日あとを絶たない。「まただ・・・」僕はその新聞記事を読んでそう思った。なりすまし詐欺に関する報道や注意喚起は様々なメディアを通じて行われている。しかし、その被害は今も減らない。

僕には今年七十四歳になる祖母がいる。卓球のサークルに所属して毎週汗を流し、最近の話題にも明るい。年齢を感じさせないくらい活動的だ。しかしそんな祖母が、数年前からなりすまし詐欺への対策をするようになった。僕たち家族は「そこまでしなくても大丈夫じゃないの。」と思っているが、祖母はとても慎重だ。

第一の対策として、電話機を買い替えた。それはかけてきた相手の電話番号が見られる仕様になっており、設定すれば相手の名前を読み上げることができる。「これなら安心して電話にできることができる。」と祖母は言っている。また祖母は、知らない番号からの着信だった場合、すぐに電話には出ず番号をメモする。再度同じ番号から電話があれば、迷惑電話防止対策用のボタンを押す。そうすると電話機からは「この電話は迷惑電話対応モードです。ご用件のある方はお名前をおっしゃってください。」という音声が出る仕組みになっている。これで相手が知り合いであれば、そのまま対応できる。その後番号と名前を設定すれば、次から問題なく連絡を取り合えるというわけだ。

また祖母は、僕たち家族も詐欺の被害にあわないように、電話に関するルールを決めている。それは「二回コール作戦」である。祖母は僕たちの家に電話をかける時、まず二回コールして電話を切る。そしてすぐに電話をかけ直し、本題に入るというものだ。これのおかげで僕たちは、祖母からの電話であると一発で理解でき、安心して電話に出ることができる。

このような対策を行うことで、祖母は自分だけでなく、家族がなりすまし詐欺にあわないように考えてくれている。今、祖母が行っている対策は、ちょっと面倒だが、全て簡単にできるものだ。つまり、簡単で単純な対策でも、一つ一つを積み重ねることで詐欺の被害防止につながれるのだと思う。さらに全ての人が「自分は大丈夫。」と思わず、「もしかしたら、自分も詐欺の被害にあうかもしれない。」と考えて行動することが大切なのではないだろうか。なりすまし詐欺への対策は、「慎重すぎるくらいがちょうどいい。」僕はこのことを祖母から学んだ。これからは僕も被害を防止するためにどんな対策が有効かを考えていきたい。そして祖母にその対策を提案し、毎日安心して生活してもらいたいと思う。